

広報力強化・防災推進委員会 基本方針（案）

副理事長 大西 正起

広報力強化・防災推進委員会 委員長 元木 良充

1 自然災害の頻発化、激甚化が懸念されている今日、いつ来るかわからない災害に対しての
2 備えが必要です。我々鳴門板野 J C では、これまで多くの防災事業や例会を行ってきました
3 が、より多くの方々にこの知識を知っていただきたいと感じています。どれほど良い事業や
4 例会をしても知っていただかなければ意味がありません。広報力の強化は必須の課題であ
5 り、より多くの方々に我々の活動を知るきっかけを作り伝えていく必要があります。

6 まずは、HP より防災事業を始め各事業の告知速度を上げ進捗状況を定期的に配信し積
7 極的に広報していきます。時には他団体のイベントや事業に参加し直接 P R することで私
8 たちの活動内容を広めていき、各 S N S によりその内容を写真や動画にして発信すること
9 で地域の方々に知ってもらう機会を作ります。さらに、私たちの活動力を強化し盛り上げて
10 いくために事業担当委員会と連携しクラウドファンディングを企画いたします。クラウド
11 ファンディングでは、勉強例会をはじめ各事業の告知や鳴門板野 J C の活動を発信してい
12 き、各事業への理解度を上げ地域の方々の参加率の増加を目指します。そして、この事業を
13 通して鳴門板野 J C の活動に賛同していただける方を増やします。また、鳴門市社会福祉協
14 議会と鳴門板野 J C で結ばれている連携協定の強化に取り組めます。発災時には両者が相
15 互に連携、協力し効率的かつ効果的に災害ボランティア活動などの被災者支援活動を行う
16 とともに、この連携強化と実体験を基にした体験型の事業を企画します。地域の方々と共に
17 体験することで災害が起きた際に迅速に対応できる知識と経験の理解を深めます。

18 災害発生時に起こりうる状況を事業の中で体験することにより、経験を知識として生か
19 すことができ、我々が取り組む姿勢をその他の事業や地域活動と合わせて広報することで、
20 地域の防災意識の向上のみならず J C 活動が周知され地域全体に浸透すると確信します。

21
22 S D G s 4、8、11、13

23 [事業計画]

- 24 1. 各 S N S を用いて委員会活動の積極的発信の実施
- 25 2. 4 月事業担当委員会と連携しクラウドファンディングの企画・設営
- 26 3. 9 月防災対策の強化で連携拡大の例会の企画・設営

27
28
29
30
31
32
33
34